ライシスフェンス・プレスタフェンス フリーポールタイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠警告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因となります。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●指定寸法は必ず守ってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●ブロック塀（フェンス含む）総高さは2.2m以下で施工してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠注意

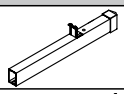
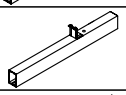
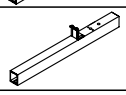
●柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
●現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
●柱の底部についているモルタル防止キャップ（テープ含）や柱補強材は取外さないでください。また柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
●本体がT-10までのフェンスの場合は厚さ10cm以上、T-10を越えるフェンスの場合は厚さ12cm以上のブロック（JIS A 5401の区分16（C種）以上）を使用してください。強度低下の原因となります。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

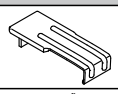
【1】フェンス

名　称	略　図	員　数
フェンス本体		1

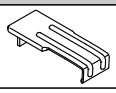
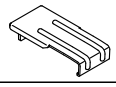
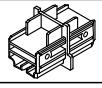
【2】主柱

名　称	略　図	員　数
主柱(T-6･T-8A)		1
主柱(T-8B･T-10B･T-10C)		1
主柱(T-12･T-14)		1

【3】PF部品セットA

名　称	略　図	員　数
上ブラケット(T-6･8･10用)		1
上桟ストレートジョイントA		1
下桟ストレートジョイントA		1
【3-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		1
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4

【4】PF部品セットB

名　称	略　図	員　数	
		T-6･8･10用	T-12用
上ブラケット(T-6･8･10用)		1	―
上ブラケット(T-12用)		―	1
上桟ストレートジョイントB		1	1
下桟ストレートジョイントB		1	1
【3-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		1	1
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4	4

【5】RF部品セット

名　称	略　図	員　数	
		T-6･8･10用	T-12･14用
上ブラケット(T-6･8･10用)		1	―
上ブラケット(T-12･14用)		―	1
上桟ストレートジョイント		1	1
下桟ストレートジョイント		1	1

【5】RF部品セット　つづき

名　称	略　図	員　数	
		T-6･8･10用	T-12･14用
【3-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		1	1
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4	4

【6】PF端部キャップA

名　称	略　図	員　数
上桟端部キャップA 右		1
上桟端部キャップA 左		1
下桟端部キャップA 右		1
下桟端部キャップA 左		1
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4
取付説明書<C436>	―	1
取扱説明書<UC007>	―	1
注意シール	―	1

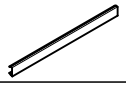
【7】PF端部キャップB

名　称	略　図	員　数
上桟端部キャップB 右		1
上桟端部キャップB 左		1
下桟端部キャップB 右		1
下桟端部キャップB 左		1
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4
取付説明書<C436>	―	1
取扱説明書<UC007>	―	1
注意シール	―	1

【8】RF端部キャップ

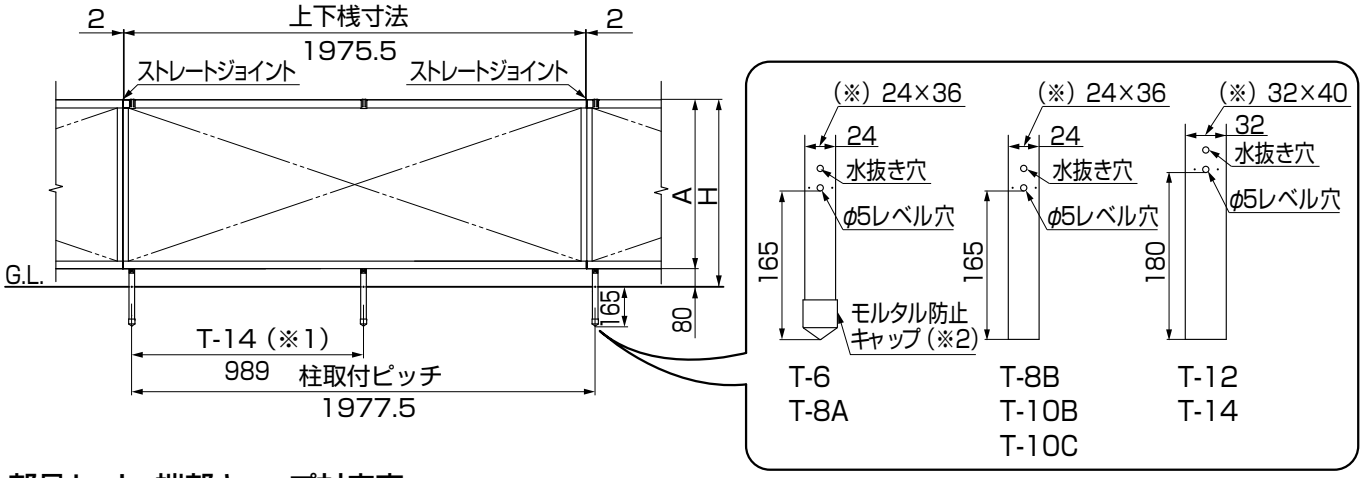
名　称	略　図	員　数
上桟端部キャップ		2
下桟端部キャップ		2
【3-2】φ4×10トラスタッピンネジ1種(D=8)		4
取付説明書<C436>	―	1
取扱説明書<UC007>	―	1
注意シール	―	1

【9】端部部材

名　称	略　図	員　数
端部部材		2

C436_201401A

1. 基本寸法図



部品セット、端部キャップ対応表

タイプ	対応するフェンス
PF部品セットA、端部キャップA	プレスタフェンス2･4型
PF部品セットB、端部キャップB	プレスタフェンス1･3･5･6･7Y･8･8S型
RF部品セット、端部キャップ	ライシスフェンス

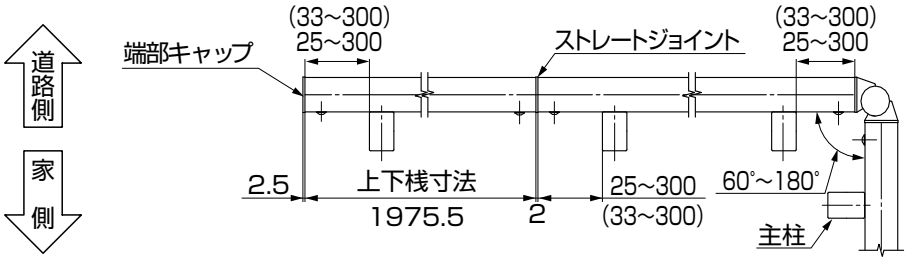
サイズ	H	A
T- 6	600	520
T- 8	800	720
T-10	1000	920
T-12	1200	1120
T-14	1400	1320

補 足

- ●T-14では全ての柱取付けピッチが989mm以内になります。（※1）
- ●T-6、8Aはモルタル防止キャップが付いています。（※2）
- ●T-8B、10B、10C、12、14は柱補強材が入っています。
- ●T-12、14は柱外寸が異なります。（※）

ポイント

- ●各柱のレベル穴は水平にそろえてください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなかったり、上ブラケットが取付けられなく場合があります。



（ ）はT-12、T-14の場合

注 意

- ●柱ピッチが989mm以内で施工の指示があるものは必ず、989mm以内で施工してください。これらの機種は風圧を受けやすいので風による飛散事故が起きるおそれがあります。
- ●コーナー部には風が集中するため必ず柱を2本建施工してください。風による飛散事故が起きるおそれがあります。

2. 本体の取付け　※図はプレスタフェンスを示します。

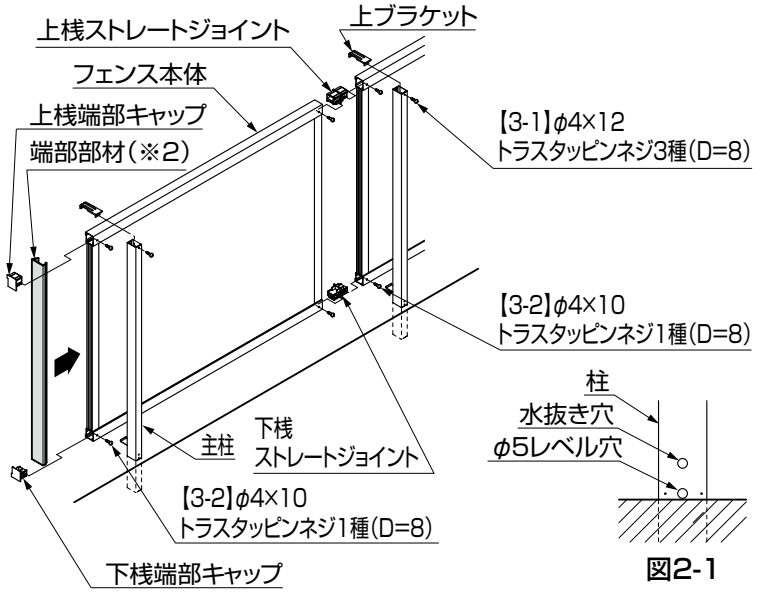


図2-1

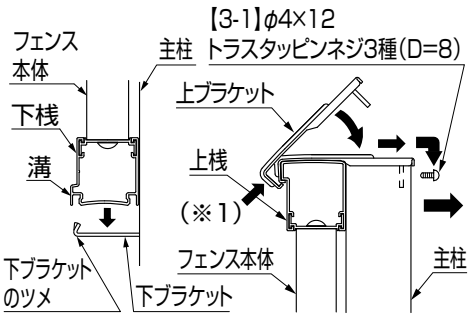


図2-2　図2-3 プレスタの場合

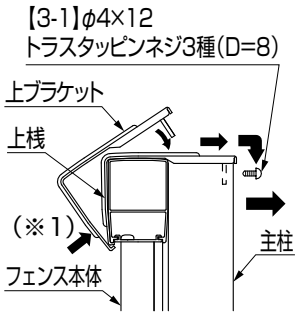


図2-4 ライシスの場合

ポイント

- ●柱ピッチは「1.基本寸法図」の表記にしたがってください。柱の底部についているモルタル防止キャップ(テープ含)や柱補強材を外さないでください。
- ●各柱のレベル穴は水平にそろえて取付けてください。(図2-1参照)

注 意

- ●柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- ●柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。

①下桟は、下ブラケットに押込んでしっかりと取付けてください。(図2-2参照)

ポイント

- ●一度ツメが下桟の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。
- ●フェンス本体を外す際は下桟小口面を横方向からゴムハンマー等で叩いて下ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取り外してください。

②上ブラケットは上桟の端に引っかけた後、柱側に引きよせて柱にかぶせ、上ブラケットの止め穴と柱の止め穴をあわせて【3-1】を仮止めしてください。(図2-3、2-4参照)

③上桟・下桟に各ストレートジョイントを差込み、【3-2】でフェンス本体を連結してください。
組付け推奨トルク：
1.0N·m±0.3N·m(10±3kgf·cm)

④上ブラケットの矢印(※1)の部分を押さえて【3-1】をしっかり締めてください。(図2-3、2-4参照)
組付け推奨トルク：
2.0N·m±0.5N·m(20±5kgf·cm)

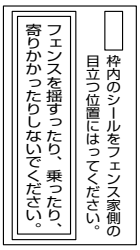
⑤プレスタフェンス3·5·7Y·8·8S型本体の端部には端部部材を縦桟にはめてください。(※2)

⑥上桟、下桟の端部には、端部キャップを【3-2】で取付けてください。

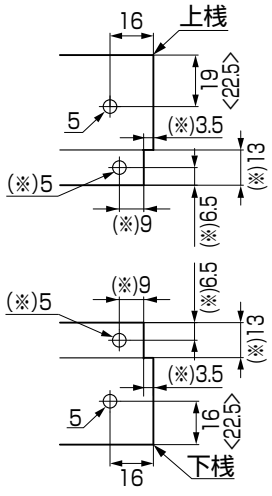
3. 注意シールの貼付け

ポイント

- ●必ず右記シールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。
- ●注意シールは、端部キャップの梱包に入っています。

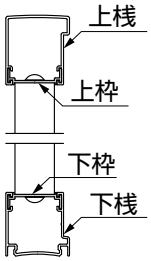


4. 上下桟、上下枠の加工　※フェンスを切詰めた際の作業です。

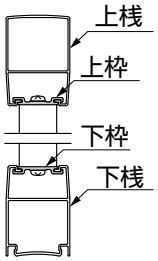


(※)はプレスタフェンス1型のみの加工です。
< >はライシスフェンスの場合の寸法です。

●プレスタフェンス



●ライシスフェンス



上枠、下枠に加工のあるフェンスは切詰め後の同じ箇所に同じ加工を行ってください。
(図はプレスタフェンス3型、ライシスフェンス3型を示します。)

●対象機種
・プレスタフェンス…1·2·4型以外
・ライシスフェンス…全機種

取説コード
C436
JZZ626585
201401A_1047